

昭和三十三年度

西日本幼稚園教育指導者講座概況報告

松木 ゆきの

昭和三十三年度西日本幼稚園教育指導者講座は、本県が引きうけました。愛知、富山以西二十八府県よりの参加者（園長、教員、指導主事）三百余名、いずれも各地の幼稚園教育の指導的立場にあり、現実の幼児教育に確固とした根柢をもっていられただけに熱誠とその真剣な発表討議は本講座の性格を物語にじゅうぶんでした。

本講座は指導者としての基礎的教養と指導能力を高めることにねらいをおかれていますので、参加者は透徹した現実の幼児に根柢をもつ組織的系統的な研究資料をもたれ、この資料を中心に活発に発表討議がおこなわれ、極めて実質的な意義のある研修がおこなわれました。指導の講師またいづれもその途において権威者であられるかたがたばかりで、助言指導の一言一言すべて會員の血となり肉となるものばかりで、収穫の多い班別研究会でありました。

こうしたしつかりした幼稚園教師によって営まれるわが国の幼稚園教育の将来を思うとき多大の期待と喜びに満たされます。

本講座では単なる理論的研究のみに止まらずわざわざバスを仕立て、希望者が遠方まで園見学に出かけられ、二、三の幼稚園について施設々備の状況を実地に見学され、非常に参考になったと喜びの声をききました。本県では最近設置基準が制定されて以来、各市町村が設置基準に合致した施設々備の整備に努力されている現状ですが、今回見学されたような園が県下各所に次々と生まれていることも本県幼児教育伸展の現状を物語もどかと思えます。

・講座開催についての経過

本講座は、本年の二月に開催ひき受けが決定いたしました、昨年の福井での會員の希望もあつたので、夏休暇を利用して七月開催ということになりました。爾来四か月の短日でありましたが本講座の目的をじゅうぶんに達成したいという念願の下に県関係、大学、現場の三者は一体となり、事前研究や計画運営万般の準備に総力を打ちこみました。本県は幼稚園児の就園率が全国優位にあるだけに施設と並行して内容の充実を

はかるということが幼稚園教育の努力目標とされております。県教委はこうした研究の好機を捉えて県下全般にわたり全教員挙つて研究に打ちこむように配慮され、研修の機会と研究の指針をあたえられましたので、県下全幼稚園の全職員が各々の研究部に分かれ、小さいながらも充実した研究が出来ました。なお本講座における第一班研究にいささか資料となつたと思われる「望ましい経験の分析」という研究物は幼稚園教育要領を基準に本県の地域性を加味したもので今後の本県幼稚園教育にとつては大いに研究の途を拓くことのできる意義ある研究資料であると思っております。

・閉会式

班別研究まとめ（各班において反省会ならびに懇談会）に次いで閉会式にうつり文部省玉越事務官の懇ろな講評をいただき、香川県教育長代理松浦指導課長の閉会の辞につづいて参會者代表の謝辞があり、全員満足感にみちて、今後の研究と精進を誓い新たな感激の中に意義深い四日間の講座に惹がなく終幕を告げたことは喜びにたえません。指導者の熱心な御指導、また會員各位のあたたかい協力数々の感謝と感激を胸に描きながらはるかに皆様の御健康を祈りつつ講座の概要を簡単に報告申上げる次第でございます。（香川県観音寺幼稚園長）